

◎サポート募金実施事業

1. 東京千住キャンパス第2期計画（5号館・I街区建物）の建設報告

東京千住キャンパス第2期計画として建設してまいりました5号館につきましては、当初の計画どおり平成29年1月に完成し、同年4月に開設いたしました。

5号館は大学、大学院の教育・研究環境の一層の充実を目指し、教室、ゼミ室、実験・実習室、研究室、ものづくりセンター等を設置いたしました。

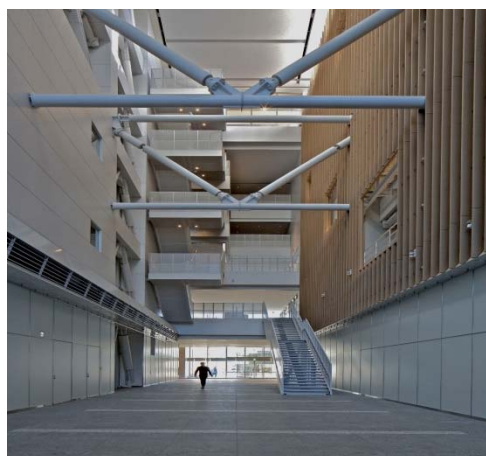
建物は地上12階、地下1階、塔屋2階/53.34m、延床面積/33,377.17㎡です。



【東京千住キャンパス全景】



【5号館北東全景】



【アトリウム（西から東を望む）】



【ルーフガーデン（6階）】

2. 奨学金の充実

(1) 大学

平成28年度からサポート募金を原資とした「学生サポート給付奨学金」を開始いたしました。

本奨学金は、家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある本学学部生に

対し、在学中1回に限り25万円を給付いたします。

なお、採用された学生は、大学主催の学生行事に「学生ボランティアスタッフ」としての参加が義務づけられていることが特色です。平成28年度は5名の学生に奨学金を給付いたしました。平成29年度も年2回（前期・後期）の募集を行ってまいります。

◎ 奨学金受給学生からの感謝の声

- ・ 熊本地震において、保証人自宅の家具が壊れ、学費負担が厳しい状況であるなか、給付いただき助かりました。
- ・ 保証人の交通事故とその治療により、収入が大幅に減少したなか、学費の一部に充てることができました。将来は国家資格を取得し頑張りたい。

(2) 中学・高等学校

「学校生活支援奨学金」として、人物・学業ともに優秀であるにもかかわらず、家計急変などの事情により、本学での就学が困難な生徒の学費以外の費用を支援いたします。

3. 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

神山治貴様(本学卒業生、前本法人理事)からのご厚志を原資とし、「東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」を平成27年度から開始いたしました。

本プログラムは、本学の学部在籍学生で学長賞の受賞者のうち、学部在学中に英語圏の大学等に海外留学（単位取得）を希望する者の中から選考し、優秀でグローバルな人材を育成することを目的としております。

平成28年度は、1名の学生が平成28年9月5日から平成28年12月22日までフィンランドのラップランド応用科学大学に留学いたしました。平成29年度は2名の学生がラップランド応用科学大学、アメリカのアーカンソーテック大学へ留学予定です。



【アメリカ アーカンソーテック大学】

◎寄付感謝の集いにおいて、東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム第1号の留学生である広田勇貴君より、次のとおり留学生活について報告がありました。

★フィンランドのラップランド応用科学大学での留学について

大学における学習体験や寮での共同生活、日本の大学との違いや他の留学生との交流について実例をあげ報告がありました。特に今回の留学において得られたことは、学習や生活において、「Positive thinking」でいることが非常に大切なことだということ強く感じたとの報告がありました。



4. 施設・設備の充実

(1) 東京千住キャンパス【千住ものづくりセンターの施設・設備の充実】

平成29年4月に開設された5号館内千住ものづくりセンターの運営に必要な物品(各種工具類、資機材、測定器 他)を購入いたします。



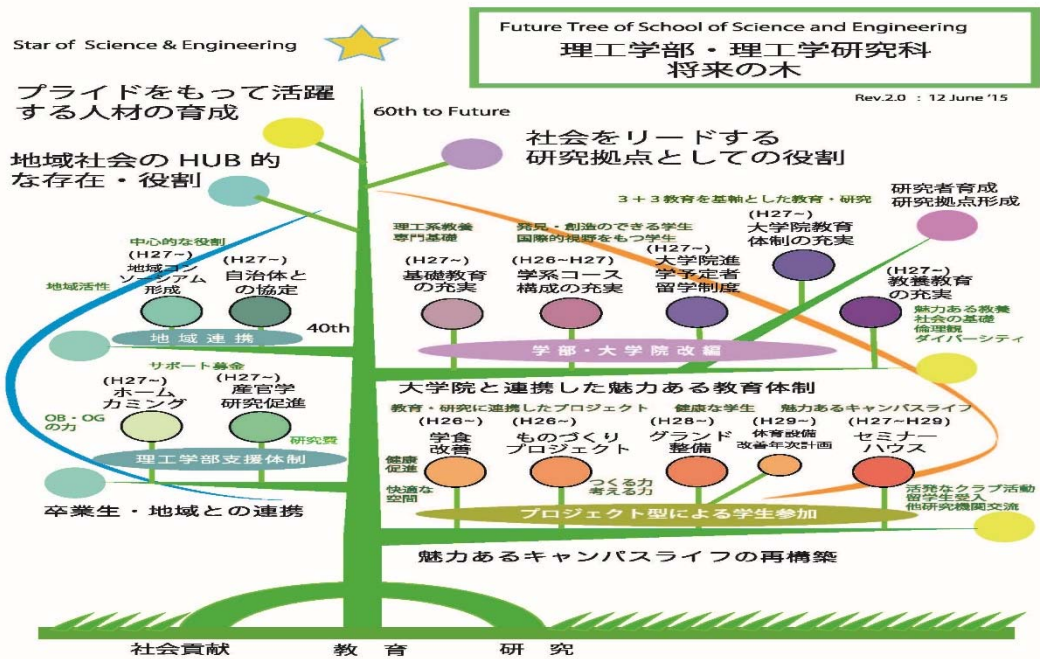
【多目的スペース】



【溶接・切断加工スペース】

(2) 埼玉鳩山キャンパス【多目的セミナーハウス什器購入】

開設40周年を機に、未来永劫において教育、研究、社会貢献で社会の重要な役割分担を担い続けることを目指し、理工学部・理工学研究科の20年後の姿を示す「将来の木」構想を策定しました。その構想に基づき、学生サービスの向上と20年後の地域連携・国際化推進の活動拠点として、建設する多目的セミナーハウス内の什器類を購入する予定です。



東京電機大学理工学部は、開設40周年を機に学部のパワーアップを積極的に行い、未来永劫において教育・研究・社会貢献で社会の重要な役割を担い続けることを目指します。

(3) 千葉NTキャンパス【テニスコート防風ネット張替】

老朽化したテニスコートの防風ネットの張替を実施いたしました。情報環境学部は平成30年4月に東京千住キャンパスへ移転しますが、移転後もテニスコートは、クラブ活動等で引き続き使用する予定であります。



【施工前】



【施工後】

(4) 東京小金井キャンパス【電子黒板の設置】

中学校・高等学校では、教室等のICT化の一環として、平成26年度より順次電子黒板の設置を進めております。平成29年度は教育棟のホームルーム7教室に設置する予定です。



【導入前】



【導入後】

5. 課外活動への支援

課外活動への支援として、次の50団体に対してご寄付をいただきました。

(1) 東京千住キャンパス (17団体)

グリークラブ、アマチュア無線部、ギターアンサンブル、硬式野球部、自動制御研究部、吹奏楽部、バドミントン部、軽音学部、硬式庭球部、ソフトウェア研究部、旭祭実行委員会、空手道部、剣道部、卓球部、合同体育祭、IDCロボコン、蹴球部

(2) 埼玉鳩山キャンパス (5団体)

蹴球部、軟式野球部、ヒューマノイド研究部、モータースポーツ部、フォークソング部

(3) 東京小金井キャンパス (28団体)

アメリカンフットボール部、剣道部、硬式テニス部(高校)、硬式テニス部(中学)、ゴルフ部、コンピューター部、サッカー部(高校)、サッカー部(中学)、茶道部、自転車競技部、柔道部、少林寺拳法部、女子バレーボール部(高校)、女子バレーボール部(中学)、吹奏楽部、生徒会執行部(高校)、ソフトテニス部(高校)、ソフトテニス部(中学)、卓球部、オリジナルダンス愛好会、鉄道研究部、バドミントン部、武蔵野祭、無線部、男子バスケットボール部(高校)、男子バスケットボール部(中学)、野球部(高校)、野球部(中学)

◎寄付感謝の集いにおいて、2団体の学生から次のとおり募金の使用状況の報告がありました。

★剣道部（東京千住キャンパス自治会）

東京千住キャンパス3号館1階武道場にて週3回活動し、それ以外にも年4回の卒業生との練習会や他大学と練習試合を行い、関東理工系大会や関東学生剣道新人戦などの大会へ出場しています。今回のサポート募金は、現役生・卒業生の名前を入れた名札板を購入いたします。



※ 完成イメージ

★軟式野球部（埼玉鳩山キャンパス）

首都大学軟式野球連盟に所属し、週3日の練習を行い、春季・秋季リーグ戦に参加し、ここ数年は2部から1部への入替戦に出場しています。次回こそは1部リーグへの昇格を目指します。今回のサポート募金は、更なるチーム力強化のため、バットやグラブ等の用具購入にあてる予定です。



順位	チーム	勝利	敗北	引分
①	東京電機大学	4	0	0
②	日本医療科学大学	3	1	0
3	淑徳大学	2	2	0
4	嘉悦大学	1	3	0
5	東京理科大学	0	4	0

6. その他

上記以外の用途指定として、次の各事業への寄付金をいただいております。

- (1) 理工学部開設40周年記念事業
- (2) 情報環境学部開設15周年記念事業

- (3) 建築縦の会支援事業
- (4) 情報通信工学科の教育・研究

7. 使途を指定しない寄付金について

使途を指定しない寄付金につきましては、学校法人東京電機大学学術振興基金の増額を図り、設置各校における教育・研究活動の充実並びに学生・生徒への支援等に資するため、原則として、基金増額の積立金に充当させていただきます。

8. 平成29年度寄付状況について

初代電機第一工業学校長などを歴任されました、故波多諄三先生のご息女でおられます深井綾様から、お亡くなりになられたご主人様とご一緒に蓄財された浄財を波多先生の意志を汲まれ、学生・生徒の教育・研究の充実のためにと、1億3千万円のご寄付をいただきました。

故波多諄三先生は、東京帝国大学をご卒業後、一般企業へ勤務された後、電機学校教授を経て電機第一工業学校の初代校長を務められ、東京電機大学の設立にご尽力いただき、その後も学園の理事・監事等の要職を歴任し昭和42年に退職後、昭和45年に勲四等瑞宝章を受章されました。

また、株式会社ソディック様より、平成29年4月に開設した総合研究所「先端レーザー技術研究所」の運営費として6千万円のご寄付をいただくともに、5号館1階に「ソディックスペース」が開設されました。開設にあたっては多大なご支援をいただきました。



【5号館1階 ソディックスペース】



【金属3Dプリンタ】

以上